JARP神奈川会　第80回イベント報告

浪曲鑑賞



開催日：2026年10月27日　参加者：52名「浪曲鑑賞会」を開催しました。

今回も、前回大好評をいただいた浪曲公演の第二弾です。浪曲師・国本はる乃さんと、曲師・玉川鈴さんの息の合った名コンビを迎え、会場には52名が参加しました。



演目は「瞼の母」と「若き日の大浦兼武」の二席。公演に先立ち、浪曲師から曲師との掛け合いについて興味深いお話がありました。曲師は、浪曲師の口の動きや語りの調子を見ながら、その場の流れに合わせて即興で合いの手を入れ、三味線を奏でていくそうです。まさに、互いの呼吸と感性があってこそ生まれる舞台の妙です。

いざ公演が始まると、浪曲師の情感豊かで力強い語りに、三味線の絶妙な音色と合いの手が重なり、物語の世界へと引き込まれていきました。語りと三味線が織りなす心地よいリズムや臨場感は、まさに浪曲ならではの醍醐味です。





増田代表　挨拶

参加者の皆さんも、二人の見事な掛け合いと迫力ある舞台にすっかり魅了され、感激の様子でした。伝統芸能の奥深さと素晴らしさを改めて感じる、充実したひとときとなりました。

公演終了後には、国本はる乃さん、玉川鈴さんを囲んで歓談の時間も設けられ、記念撮影を楽しむなど、最後まで大いに盛り上がりました。出演者と参加者の交流も深まり、思い出に残る第80回イベントとなりました。

写真＆編集：富山友次